

ケアセンターけやき 高橋 稔 (GH 介護福祉士)

功 績 コロナ禍において、入居の見学希望があっても入居フロアをゆっくりご覧いただけにくい状況の中、見学対応用の広報誌の臨時号を作成し、これを見ていただきながらご案内することで「けやき」の魅力を更に伝えることができ、見学にお越しいただいた方に入居のお申し込みをしていただくことができた功績

推 薦 者 河井ともみ (看護主任)

推 薦 理 由 コロナ禍において、高橋は通所介護や通所リハビリが目標稼働に届かず苦戦している中、せめて入居は満床稼働させ予算を達成しようと、設備や取り組みなどけやきの魅力を載せた広報誌臨時号を作成し、これにより待機者が獲得できたことは理事長賞に値すると思え、推薦いたします。

内 容

令和2年4月以降、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、新規ご家族側が入居の見学をためらわれたりと、十分にご案内することができない状況でした。

また、現在通所においてはコロナの状況で稼働に影響していることから、入居施設においては、満床稼働の継続を継続する事がけやきワンチームの取組みにおいて最上位の実施事項でした。

そこで、以前に利用者さんの笑顔の写真を集めたパネルを作成し、ご家族や見学の方に好評を得ていた高橋に、けやきの魅力を伝える方法はないか相談。

高橋は見学対応用に広報誌の臨時号を作ってはどうかと提案。高橋はすぐに作成に取り掛かり、その内容は、広くて明るいリビングや居室、安心して入浴できる浴室等の設備と、それ以外に、けやきの理念にある「地域の在宅介護の拠点」として、地域の行事などに参加させていただき交流を深め、繋がりを大切にしている様子を載せ「けやきが目指すもの」を分かりやすく作成した。

早速、見学の問い合わせに、この広報誌臨時号を見ていただきながらご案内を行ったところ、2名の方に「他の施設に入ったとしても、けやきが空いたら是非入居したい」と仰っていただきお申し込みいただいた。